

2021年3月1日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

新型コロナウイルス対策および少子高齢化と人口減への対策が急務となっている現在、IR誘致を断念して、新年度IR関連としての国際リゾート予算を全廃し、新しい街づくりへ転換することを要請いたします。

苫小牧市長におかれては、苫小牧市民のために新型コロナウイルス対策と苫小牧市政にご尽力なさっておられることに敬意を表します。

北海道知事は、カジノを含む統合型リゾート(IR)を誘致することを先送りすると明言し道の新年度予算も計上は見送っています。また、IR事業者は次々と日本国内から撤退しています。これから先、たとえ新型コロナウイルス危機がいったん収束に向かうとしても、海外旅行者・国内旅行者を対象としたIRカジノ産業が採算をとれることはありえないことは明らかです。

ラムサール条約に登録されているウトナイ湖周辺の自然環境を破壊するおそれがあり、ギャンブル依存症の犠牲者を生み出してしまうIRの誘致にいつまでもしがみついて傷が深くなるうちに、断念し、将来の苫小牧市が明るく豊かな都市であり続けていかれるように、魅力ある街づくりへ市政を転換していただけるように要請いたします。

苫小牧市は、新年度予算の中で200万円を「国際リゾート構想」をすすめるための会議費として計上しています。しかし、将来にわたって苫小牧市にIRが実現する可能性が極めて低いことを考えると、IRに関連しているこの200万円は無駄になります。IR誘致を断念して、この200万円は市民の貴重な予算として別の用途に振り向けるべきです。

来年度も新型コロナウイルス危機・新たな国際的感染症パンデミックへの対策は続きます。IR誘致を断念して、新型コロナウイルス危機への対策と新たな国際的感染症パンデミックへの対策に対する苫小牧市の自治体としての真剣な取り組みを求めます

少子高齢化と人口減への対策は急務となっております。IRではない、苫小牧市民に密着した地元産業・地元商業の振興発展、地元農業漁業の振興発展、医療・福祉・文化・教育環境が充実していくような魅力ある街づくりへ転換してほしいと要請いたします。